



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月6日

上場会社名 山下医科器械株式会社

上場取引所 東

コード番号 3022 URL <http://www.yamashitaika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 秀憲

TEL 092-726-8200

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	20,594	10.9	193	536.5	235	217.6	127	—
23年5月期第2四半期	18,565	2.4	30	△77.3	74	△56.3	△352	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 75百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △349百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	50.00	—
23年5月期第2四半期	△138.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	14,485	5,006	34.6
23年5月期	15,379	4,956	32.2

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 5,004百万円 23年5月期 4,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,075	4.9	178	12.0	239	△1.6	103	—	40.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	2,553,000 株	23年5月期	2,553,000 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	890 株	23年5月期	890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	2,552,110 株	23年5月期2Q	2,552,119 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 当四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書.....	6
四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
4. 補足情報.....	11
仕入及び販売の状況.....	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復の兆しがみられた一方、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州の政府債務危機問題を背景とする海外景気の下振れや、円高の長期化等先行きの不透明感が強まり、引き続き不安定な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、平成24年度診療報酬改定に向けた議論が本格化する中、病院勤務医等の負担軽減、医療と介護の役割分担の明確化、在宅医療の充実等の課題への取組み等が基本方針として提示されました。平成22年度診療報酬改定では一部の医療機関の経営に若干の改善傾向が見られたものの、地域医療機関を取り巻く経営環境は依然として厳しく、当社グループが属する医療機器販売業界におきましても、販売競争の激化とともに、業界再編の動きも見られます。

このような状況の下、当社グループでは、本年度を初年度とする新中期経営計画に基づき、基盤事業の安定的成長と生産性の向上を目指して、主要施策に取り組んでおります。特に本年度は基盤事業強化のため、きめ細かな営業活動による主要顧客とのリレーション強化に取組み、SPD(物品管理)契約施設の増加や医療機器備品の売上増加等、各事業分野においてその効果が現れてきております。また、仕入れから販売までの一環管理による商品戦略の強化や、子会社における整形事業の展開加速によるグループ戦略の強化等に重点的に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は205億94百万円(前年同四半期比10.9%増)となり、利益面につきましては、売上増加に伴う売上総利益の増加、支払手数料等の経費削減により、営業利益は1億93百万円(前年同四半期比536.5%増)、経常利益は2億35百万円(前年同四半期比217.6%増)、四半期純利益は1億27百万円(前年同四半期は3億52百万円の四半期純損失)となりました。

報告セグメントの業績は下記のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、基幹医療機関における設備投資案件や医療機器更新需要の増加に伴い、超音波診断装置等の医療機器備品および理化学機器等の売上増加により38億9百万円(前年同四半期比25.4%増)となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設の増加等に伴う医療機器消耗品や整形消耗品の売上増加により103億30百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。低侵襲治療分野では、内視鏡備品や内視鏡処置用医療材料(IVE)および心臓循環器消耗品等の売上増加により45億94百万円(前年同四半期比9.6%増)となりました。メディカルサービス分野ではCT(コンピュータ断層撮影装置)やMRI(磁気共鳴画像装置)等の放射線機器等の売上増加により11億46百万円(前年同四半期比7.0%増)となりました。医療情報分野では、画像診断装置システムや医療情報備品等の売上減少により5億92百万円(前年同四半期比7.7%減)となりました。この結果、医療機器販売業の売上高は204億73百万円(前年同四半期比11.1%増)、セグメント利益は5億19百万円(前年同四半期比53.1%増)となりました。

② 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は17百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。セグメント損失は24百万円(前年同四半期は45百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は144億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億93百万円減少いたしました。流動資産は、主に受取手形及び売掛金の減少等により111億33百万円になりました。固定資産は、投資その他の資産の減少等により33億51百万円になりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ9億43百万円減少し、94億78百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度に比べて49百万円増加し、50億6百万円となり、自己資本比率は34.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により42百万円増加し、投資活動により2億99百万円減少し、財務活動により25百万円減少いたしました。この結果、資金残高は前連結会計年度末から2億82百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は19億24百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、営業活動によるキャッシュ・フローは、42百万円の収入(前年同四半期は22億93百万円の支出)となりました。

主な要因といたしましては、税金等調整前四半期純利益が2億38百万円、賞与引当金の減少額が1億5百万円、売上債権の減少額6億48百万円、仕入債務の減少額が9億6百万円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、投資活動によるキャッシュ・フローは、2億99百万円の支出(前年同四半期比38百万円の支出の減少)となりました。

主な要因といたしましては、有価証券の取得による支出3億円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、財務活動によるキャッシュ・フローは、25百万円の支出(前年同四半期比49百万円の支出の減少)となりました。

主な要因といたしましては、株主配当金25百万円の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期において最近の業績動向を踏まえ、業績予想の見直しを行った結果、平成23年7月11日に公表いたしました平成24年5月期第2四半期の連結・個別業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成23年12月26日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 当四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,707,061	1,624,615
受取手形及び売掛金	7,659,867	7,011,525
有価証券	500,000	600,000
商品	1,669,958	1,584,731
その他	365,163	321,875
貸倒引当金	△10,219	△9,011
流動資産合計	11,891,832	11,133,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,173,277	2,173,410
減価償却累計額	△1,003,473	△1,045,292
建物及び構築物(純額)	1,169,803	1,128,118
土地	1,474,493	1,474,493
その他	545,918	528,986
減価償却累計額	△435,619	△443,829
その他(純額)	110,298	85,157
有形固定資産合計	2,754,596	2,687,769
無形固定資産	123,789	106,965
投資その他の資産		
投資有価証券	252,477	164,109
その他	356,396	392,581
投資その他の資産合計	608,874	556,691
固定資産合計	3,487,259	3,351,426
資産合計	15,379,091	14,485,162
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,470,616	8,564,340
未払法人税等	13,877	58,566
賞与引当金	271,967	166,383
その他	388,890	380,298
流動負債合計	10,145,352	9,169,588
固定負債		
退職給付引当金	93,905	121,264
資産除去債務	52,770	51,260
その他	130,443	136,443
固定負債合計	277,119	308,967
負債合計	10,422,472	9,478,556

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,605	627,605
利益剰余金	3,714,182	3,816,256
自己株式	△971	△971
株主資本合計	4,834,841	4,936,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,089	67,711
その他の包括利益累計額合計	120,089	67,711
少数株主持分	1,688	1,978
純資産合計	4,956,619	5,006,605
負債純資産合計	15,379,091	14,485,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	18,565,538	20,594,597
売上原価	16,210,763	18,056,050
売上総利益	2,354,774	2,538,547
販売費及び一般管理費	2,324,434	2,345,420
営業利益	30,340	193,126
営業外収益		
受取利息	1,742	1,023
受取配当金	1,234	1,286
仕入割引	25,723	26,271
受取手数料	5,608	5,130
その他	10,942	11,408
営業外収益合計	45,251	45,120
営業外費用		
支払利息	896	1,049
その他	621	1,933
営業外費用合計	1,518	2,983
経常利益	74,073	235,263
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,375
貸倒引当金戻入額	636	—
特別利益合計	636	3,375
特別損失		
固定資産除却損	144	18
事務所移転費用	—	475
減損損失	431,379	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,345	—
特別損失合計	439,870	493
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△365,159	238,146
法人税、住民税及び事業税	10,302	52,511
法人税等調整額	△23,332	57,749
法人税等合計	△13,029	110,261
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△352,130	127,884
少数株主利益	743	290
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△352,874	127,594

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△352,130	127,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,009	△52,378
その他の包括利益合計	3,009	△52,378
四半期包括利益	△349,120	75,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△349,864	75,216
少数株主に係る四半期包括利益	743	290

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△365,159	238,146
減価償却費	111,300	84,717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,049	△1,207
賞与引当金の増減額(△は減少)	△159,766	△105,583
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,161	27,358
受取利息及び受取配当金	△2,977	△2,309
支払利息	896	1,049
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,375
固定資産除却損	144	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,345	—
減損損失	431,379	—
売上債権の増減額(△は増加)	△208,006	648,341
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,880	80,985
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,941,548	△906,276
その他	△119,786	△11,010
小計	△2,234,506	50,852
利息及び配当金の受取額	2,977	2,309
利息の支払額	△881	△1,082
法人税等の支払額	△61,552	△22,927
法人税等の還付額	—	13,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,293,962	42,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△300,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△25,551	△6,908
有形固定資産の売却による収入	—	3,313
無形固定資産の取得による支出	△11,363	△1,900
投資有価証券の取得による支出	△1,476	△1,097
投資有価証券の売却による収入	—	6,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,391	△299,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△74,878	△25,055
自己株式の取得による支出	△78	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,957	△25,055
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,707,312	△282,446
現金及び現金同等物の期首残高	3,695,364	2,207,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	988,052	1,924,615

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社においては主に事業所別に、連結子会社においては個別に報告を受け、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

これらの事業セグメントを製品・サービスの類似性から、集約基準及び量的基準に基づいて集約したうえで、「医療機器販売業」及び「医療モール事業」の2つを報告セグメントとしております。

「医療機器販売業」は、主に医療機器メーカーより仕入れた医療機器を、病院をはじめとする医療機関等に販売しております。「医療モール事業」は、複数のクリニックが同一敷地内に立地し、各診療科の専門医が医療サービスを提供する複合型医療施設の運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	18,383,606	16,750	18,400,357	165,180	—	18,565,538
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,195	—	52,195	150,825	△203,020	—
計	18,435,802	16,750	18,452,552	316,006	△203,020	18,565,538
セグメント利益又は 損失(△)	339,488	△45,823	293,665	14,866	△278,191	30,340

(注)1 「その他」の区分は、自社開発製品である整形外科用インプラントやプライベートブランド製品を製造・販売しております。

2 セグメント利益の調整額△278,191千円には、各報告セグメントに配分しない全社費用△276,078千円、棚卸資産の調整額△2,113千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	20,375,973	17,496	20,393,469	201,128	—	20,594,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97,641	—	97,641	90,386	△188,027	—
計	20,473,614	17,496	20,491,110	291,514	△188,027	20,594,597
セグメント利益又は 損失(△)	519,759	△24,604	495,155	4,725	△306,754	193,126

(注)1 「その他」の区分は、自社開発製品である整形外科用インプラントやプライベートブランド製品を製造・販売しております。

2 セグメント利益の調整額△306,754千円には、各報告セグメントに配分しない全社費用△312,207千円、棚卸資産の調整額5,452千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

仕入実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	前年同 四半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器販売業	機器	4,687,644	5,552,432	118.4
	消耗品	10,971,778	12,025,219	109.6
	医療情報	507,168	441,120	87.0
	小計	16,166,591	18,018,772	111.5
その他		207,135	230,758	111.4
セグメント間内部取引額		△203,020	△188,027	92.6
合計		16,170,705	18,061,503	111.7

(注) 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	前年同 四半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器販売業	一般機器分野	3,038,207	3,809,899	125.4
	一般消耗品分野	9,493,077	10,330,356	108.8
	低侵襲治療分野	4,191,203	4,594,940	109.6
	メディカルサービス分野	1,071,499	1,146,239	107.0
	医療情報分野	641,812	592,177	92.3
	小計	18,435,802	20,473,614	111.1
医療モール事業		16,750	17,496	104.5
その他		316,006	291,514	92.2
セグメント間内部取引額		△203,020	△188,027	92.6
合計		18,565,538	20,594,597	110.9

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。